

## 薬学共用試験センター会務報告（平成24年12月）

### 2012-035 12月19日(水) 第2回試験統括委員会

出席者（敬称略）：

試験統括委員会

中村明弘、前田定秋、山口政俊、家入一郎、上島悦子、小澤孝一郎、草間 貞、  
佐藤憲一、滝口祥令、林 秀敏、原 脩、渡辺一弘

オブザーバー

伊東陽子（文部科学省）、木内祐二（OSCE 実施委員会）、増野匡彦（CBT 実施委員  
会）

矢ノ下玲、中嶋香織、原 博（事務局）

### 議題

#### 1. 共用試験結果の公表方法について

共用試験結果の公表について、中村委員長より以下の説明があった。

- ・各大学は、センターの例示に則って、4月以降に試験結果を自大学のホームページで公表することとなっている。
- ・平成22年度までは、受験者数と合格者数の両方を公表していたが、平成23年度以降、受験者数を公表しないこととなった。
- ・薬学教育評価の評価基準では受験者数も公表する項目に含まれているため、センターの例示と公表する項目が一致していない。従って、受験者数の公表について試験統括委員会で議論することとなった。

協議の後、中村委員長より以下の説明があった。

- ・本来、受験者数を公表することに問題はないはずであるが、現状では問題が発生している。本委員会でも懸念が示された旨、定例委員長・副委員長会議に報告する。
- ・本件は定例委員長・副委員長会議でもコンセンサスが得られない話題であり、今後も議論を続ける必要がある。
- ・平成24年度の試験結果は今年度の実施要項に沿い、各大学は受験者数を含めず公表する。
- ・現在は、4年制の学生も合格者数に含まれている。評価機構の基準に準じると、

6年制の人数と分けて公表することが求められる。委員長・副委員長会議では、分けて公表してよいという意見が多いが、分けて公表すべきという意見もある。

## 2. 本年度の共用試験におけるトラブルについて

資料に基づき、事務局より昨年度のトラブルについて説明があった。

- ・ CBT にて不正行為（カンニング）が2件あった。
- ・ OSCE の課題を事前学習でそのまま扱ってしまった大学があった。
- ・ OSCE の課題に関する資料を教卓に放置してしまった大学があった。
- ・ OSCE 本試験にて、処方箋を所定の場所に配置するのを忘れるというトラブルがあった。この大学では特例追試験を実施した。
- ・ OSCE 本試験にて、放送の一部が聞こえず試験時間が短くなってしまうというトラブルがあった。1名が特例追試験を実施した。
- ・ 特例追試験とは、運営上のミスで試験が公正に行われなかった際に実施されるものであり、学生からは受験料は徴収せず、大学が支払う。

続いて、今年度のトラブルについて説明があった。

- ・ CBT 本試験で腕時計の持ち込みがあった。問題の漏洩を防ぐため、腕時計の持ち込みを禁止としている。なお、ボールペンの持ち出しも腕時計の持ち込みと同様、問題の漏洩を防ぐために禁止としているが、頻発している。
- ・ 体験受験では受験生がメモ用紙を持ちだしてしまうトラブルもあった。翌日に教員が気づき回収した。
- ・ OSCE の準備段階で医薬品の盗難が発生した大学があった。学生に課題が類推されるおそれがあるため、実施する課題を変更してほしいという依頼があった。
- ・ モニター員に送るべき OSCE 事前審査関連のメールを、誤って部外者に送ってしまうというトラブルがあった。
- ・ OSCE 本試験にて、課題終了のアナウンスが1分遅れるというトラブルがあった。
- ・ OSCE 本試験にて、大学独自で開発した試験時間を計測するための OSCE タイマーに不具合が生じ、試験時間が25秒程度長くなった。
- ・ OSCE 本試験で、調剤監査の課題の医薬品の準備に不備があった。
- ・ 課題に使用する瓶の中に脱脂綿が入っていなかったトラブルが2件発生した。

以上の報告後、それぞれの大学への対応を協議した。

### 3. 試験実施における特別措置について

委員長より、障害を持つ受験生への特別措置について資料に基づき紹介された。特別措置を行った OSCE を実習先で行うのは難しいと考えられるケースもあり、今後、受験生の権利を守りながら公正な OSCE を実施するための議論を進めたいとの説明があった。

また、本件に関しては文科省でも検討しており、答申が出たらセンターへ連絡をするとの話があった。

## 12月26日(水) 薬学共用試験運用支援 2012年12月定例会議

出席者：

システム検討委員会：宮崎 智、飯島史朗

事務局：矢ノ下玲、中嶋香織、原 博

富士通：プロジェクト担当者7名

情報科学テクノシステム：システム開発プロジェクト担当者2名

議題：

1. 前回議事録確認
2. マスタースケジュール確認
3. 定例運用作業報告
4. QA対応報告
5. 依頼事項
6. 障害報告
7. 課題管理
8. 定例外発生作業報告